



上里町

# 赤十字奉仕団だより

第10号  
令和6年2月29日

上里町赤十字奉仕団  
委員長 林 静子

## 赤十字奉仕団員の信条

- 一、すべての人びとのしあわせをねがい、陰の力となって人びとに奉仕する。
- 一、常にくふうして人びとのために、よりよい奉仕ができるよう努める。
- 一、身近な奉仕をひろげ、すべての人びとと手をつないで、世界の平和につくす。

## 炊き出し訓練を行いました！

令和6年能登半島地震により被害を受けられた皆さま、ならびに、そのご家族の皆さまに謹んでお見舞い申し上げます。

折しも、令和5年度は、新型コロナウイルスの感染症5類移行に伴い、ここ数年自粛していた様々な活動を、徐々に再開することができた1年でした。特に、行政等からの協力依頼に基づき、本年度は計3回の炊き出し訓練を実施することができ、参加した団員ひとりひとりが「有事に備える心構え」を、改めてもつことができたのではないのでしょうか。能登半島地震の被災地の様子が報道される中で、「温かい食事」の大切さを実感すると共に、いざという時に、私たちが、

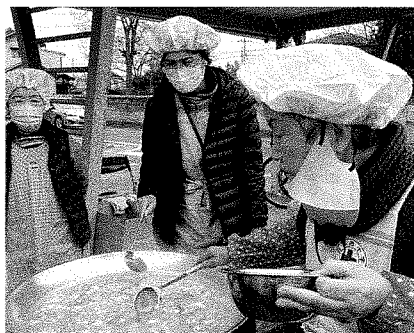
住み慣れた地域のためにできることについても考えるきっかけをいただきました。今後も、赤十字奉仕団の信条を胸に、ひとりでも多くの方に関心を持っていただけるように活動して参りたいと思います。



上)上里町防災フェスティバル(令和5年7月29日)に協力。  
炊飯袋を用いてご飯を炊き、防災食と一緒に配付した。



上)「親子で学ぶ1泊2日避難所体験 防災体験合宿(令和5年9月1日開催)」の様子。炊き出し準備(炊飯袋に米を入れる作業)を子ども達と一緒にやった。



## 「炊き出し」とは？

災害などの際に、ご飯を炊いて大勢の被災者に配ることをいいます。奉仕団では、「ハイゼックス」という強化ポリエチレン袋(炊飯袋)を用いています。なお昨今では、単にご飯を炊くだけでなく、温かい食事を調理・提供することを「炊き出し」と表現することがあります。

左上・左下)令和5年度児玉郡3町社協合同災害ボランティアセンター運営訓練での炊き出しの様子。(令和6年1月20日開催)

# 活動報告

## 小学校の総合学習への協力

令和5年6月に神保原小学校と、上里東小学校で車椅子体験などのお手伝いをしました。



## 日赤短期講習会(救急法)

令和5年9月に日本赤十字社埼玉県支部より講師を招き、救急法の講習会を行いました。当日は、団員15名が参加し、三角巾を使ったケガの手当について、実技を交えながら学びを深めました。



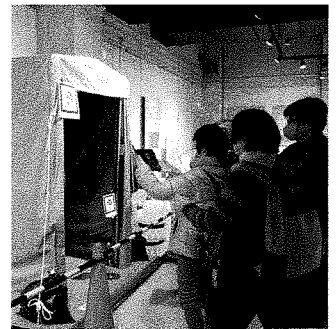
## 丹生神社の清掃活動

年間を通して、丹生神社の清掃活動に、賀美分団が参加しています。また、長幡・七本木・神保原分団員が集まり、神保原駅周辺の清掃活動を行いました。



## 視察研修(そなエリア東京)

令和5年12月に東京臨海広域防災公園 そなエリア東京へ研修に行き、首都直下地震発生直後の街並みを模した「体験ゾーン」で避難行動を疑似体験し、「学習ゾーン」で災害に関する日頃の備えなどについて学びました。



## 団員募集

赤十字奉仕団は、日本赤十字事業を支えながら活動をしているボランティア団体です。

現在、一緒に活動して下さる団員を募集しています。  
老若男女問いません!  
「できる時にできる事を」が私たちのモットーです♡

連絡先▶上里町社会福祉協議会(日赤事務局) ☎33-4232

## 受賞おめでとうございます

### 地域奉仕団員等金枠感謝状

高橋則子(七本木分団)

清塚とみ子(賀美分団)

齋藤 恵(賀美分団)

(敬称略・順不同・カッコは所属分団名)

赤十字の活動資金にご協力をお願いします

日本赤十字社の活動は、皆さまから寄せられる会費や寄付金によって支えられています。

